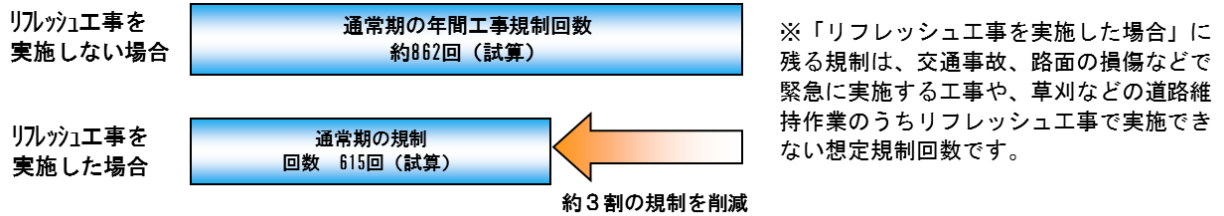


## 1. リフレッシュ工事とは

リフレッシュ工事とは、道路を管理するために必要な工事を、短期間に昼夜連続してまとめておこなうものです。これにより工事の集約化を図ることができ、年間の工事規制回数や工事に伴う渋滞発生回数を大幅に減らせます。東名阪（名二環含む）では、1995年度に導入し、今回で22回目になります。

### 年間の工事規制回数（試算：2017年1月時点）



## 2. 主な工事の内容

### ○舗装補修工事

舗装面の凹凸やひび割れなどを補修します



### ○伸縮装置工事

橋のつなぎ目にある伸縮装置を補修します



### ○ハイラジケーブル点検・補修

ハイウェイラジオのケーブル点検・補修をします。



### ○道路照明等の電球交換

道路照明等の点検、電球交換をします。



### ○各種点検／維持作業

道路施設の点検、道路維持作業をおこないます。



### 3. 工事や道路規制情報のご案内

#### (1) 工事規制情報のご案内

リフレッシュ工事にあたり、テレビ CM、ラジオ CM、ポスター、リーフレット、リフレッシュ工事専用 WEB サイト、横断幕などによって、工事期間をはじめとする各種の情報を事前にお知らせします。また、工事期間中の渋滞状況や所要時間など、お出かけ前や通行中に知りたい交通情報についても、ハイウェイテレホン、リフレッシュ工事専用 WEB サイトなどで提供いたします。詳しくは今後 NEXCO 中日本公式 WEB サイト (<http://www.c-nexco.co.jp/>)、リーフレットなどでお知らせします。

中日本高速道路株式会社では、情報板、ハイウェイラジオ、ハイウェイテレホンなどを使って渋滞情報や工事規制情報を提供させていただくとともに、規制標識や標識車を使って、工事規制箇所のお知らせや安全走行の注意を呼びかけています。これらの情報にご注意して、安全に走行してくださるようお願いします。

#### (2) 道路交通情報のご案内

##### ① リフレッシュ工事専用 WEB サイト

リフレッシュ工事専用 WEB サイトを開設し、工事の概要、所要時間予測、規制情報などをお知らせします。(2017年4月上旬頃開設予定)

##### ② 日本道路交通情報センターの道路交通情報

インターネット (<http://www.jartic.or.jp/>) や電話で道路交通情報を入手できます。

電話番号 全国統一番号 050-3369-6666※

※全国どこからでも、最寄の情報センターに接続します。

携帯短縮ダイヤル「#8011」

##### ③ iHighway 中日本 (アイハイウェイ中日本)

全国の高速道路交通情報を携帯電話のウェブサイトを利用して、マップや文字でご確認いただけます。また、通行止めが発生又は解除した際にメールでお知らせする「マイルート機能」などをご利用いただけます。



<http://c-ihighway.jp/>



##### ④ ハイウェイテレホン

リアルタイムの主要道路の交通情報 (5分更新) を 24 時間入手できます。

携帯電話から「#8162 [はい、無事(帰る)]」におかけいただくと、その場所から最も近い地域の高速道路情報が音声で入手できます。

固定電話からは「#8162」をご利用いただけません。固定電話からは、以下のハイウェイテレホンをご利用ください。

名古屋局	052 (709) 1620
豊川局	0533 (82) 1620
岐阜局	058 (259) 1620
四日市局	059 (352) 1620

また、音声によるハイウェイテレホンと併せて携帯電話のウェブサイトでご確認いただける、「目で見るハイウェイテレホン」もご活用ください。

なお、自動車走行中のドライバーの携帯電話の使用は法律で禁止されています。ご利用の際は SA・PA にてお願いします。



⑤その他

- ・ 高速道路の情報板、ハイウェイラジオ（1620kHz）、ハイウェイ情報ターミナル、SAなどのエリア・コンシェルジュなどでも交通情報をご案内しております。
- ・ 道路緊急ダイヤル  
高速道路等をご利用中に「故障車」や「落下物」、「道路の損傷」などを見つけたら、『#9910』道路緊急ダイヤル（通話料無料）にお電話ください。

4. 安全対策および渋滞対策

①渋滞末尾での追突事故防止

中日本高速道路株式会社では、工事規制箇所・渋滞箇所での注意喚起を実施し工事期間中の交通事故防止に取り組んでいます。



②連続規制の実施

- ・ 緊急車や故障車の誘導、規制材の点検のため、保安員が常時巡回します。
- ・ 短い区間で工事規制をおこなうと合流箇所が増え、追突事故の要因となります。そのため、工事をおこなっていない箇所でも、安全のため連続して規制をおこなう場合があります。



連続車線規制内のお知らせ看板の例

## 5. お願い

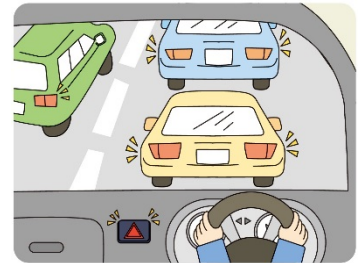
### ①ゆとりをもったご利用を

工事期間中は、迂回により通常より所要時間が多くかかるおそれがあります。ゆとりをもった計画を立ていただき、お出かけ前には交通情報を確認の上ご利用願います。

また、天候及び作業進捗等により工事期間を変更する場合がありますため、通行止め情報の確認をお願いいたします。

### ②渋滞末尾での追突事故にご注意を

渋滞時には、渋滞の車列の中や渋滞末尾での追突事故のおそれがあります。渋滞末尾に近づいた際にはハザードランプを点灯し、後続車に合図するなどして、追突事故の防止にご協力ください。



### ③全席シートベルトの着用を

高速道路上の事故では、シートベルトを着用していない乗員が、衝突の反動で車の外に投げ出されて死亡する場合があります。

運転席と助手席だけではなく、後部座席も含め必ず全席シートベルトの着用をお願いします。(2008年6月1日より道路交通法が改正され、後部座席のシートベルトの着用が義務付けられました。)

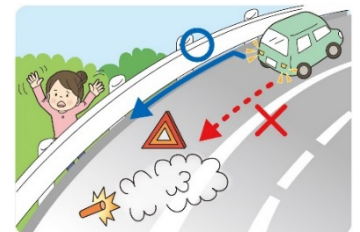


### ④高速道路上で停止した場合は

事故や故障等により万が一高速道路上に停止してしまった場合は、ハザードランプを点灯するとともに、発炎筒・停止表示器材を車の後方に無理のない範囲で設置し、後続車へ合図してください。(設置する際は車線から離れ、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所を通って移動してください。)

また、車内や道路上に残るのは大変危険ですので、運転者も同乗者も全員、通行車両や足元に十分に注意し、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所へ避難してください。

避難後は、道路緊急ダイヤル（#9910）や110番、非常電話などで通報をお願いします。



### ⑤高速道路の逆走にご注意を

行き先や出口間違いをした際のUターンなどにより、高速道路を逆走した車両が関係する重大事故が発生しています。万が一、逆走車両を発見した場合は、料金所やサービスエリア・パーキングエリアなどの安全な場所から、道路緊急ダイヤル（#9910）や110番などで通報をお願いします。

また、高速道路をご利用される際には、標識や路面標示を確認し、指定された方向への走行をお願いします。万が一、逆走をしてしまった場合には、周囲を確認したうえでハザードランプを点灯して路肩等に停止し、安全な場所から速やかに道路緊急ダイヤル（#9910）や110番、非常電話などで通報をお願いします。

